

# 何故いま「ドブロク祭」なのか 瓢鰻亭・前田俊彦さんを偲んで

福岡県京都郡豊津町 前田 賤しず



1993年4月に他界しました父、瓢鰻亭・前田俊彦追悼の集りを持って下さり、ことに一周忌にあたりましての偲ぶ会は、個人には法要よりも祭りがふさわしいと'94瓢鰻亭忌・ドブロク祭がこの始まりでありました。

とは言え、翌年2回目も三回忌の意味合いがありました。96年は焼失した瓢鰻亭再建現場での催し、97年は再建なった瓢鰻亭の披露とそれぞれに記念的なものがありましたが、今回99年はなぜ今「瓢鰻亭忌・ドブロク祭」なのかを次の様に掲げて行ったのであります。

前田俊彦氏の「ドブロクづくり」それは、自分に必要なものは自分でつくる、つまり、文化の中に生活を取り戻そう、地域に文化を取り戻そう、というメッセージ(思想)であったのだと思います。

彼の言葉にはこんなものがあります。

「祭というのは、生産であるとか、文化であるとか、人びとの関係であるとか、いろんなものがひとつのところに結集するものであります。また、祭事というのは自然に対する誓い(約束事)、感謝というものを確認し合う場でもあります。」

人と人との出会いがお互いに無限の

## プログラム

- 10:30 受付開始
- 11:00 オープニング  
酒作り講座
- 12:00 吉四六劇団
- 13:00 ヨーロッパ民族舞踏  
エプロンシアター
- 13:30 子どもたちと歌おう
- 14:00 人形劇ヒュルルンパ  
旗たて
- 15:00 アンデス音楽
- 16:00 光富神楽  
~ (片付け)
- 19:00 交流会

エネルギーをもたらし、一人一人の生活の場である地域をいきいきと息づかせ、さらにそれは世界じゅうに広がっていくのだと、私達は信じて止みません。

参加者は年々増え、層も変わりつつ今年500人を超える人数でした。

## 年表

- 1909年9月17日生
- 1930年 日本労働組合全国評議会参加
- 1931年 日本共産党入党
- 1932年 治安維持法違反で検挙される
- 1939年 保釈処分
- 1948年 延永村村長に
- 1962年 瓢鰻亭通信発行開始
- 1966年 へ平運に関わりを持つようになる
- 1977年 三里塚に移住
- 1984年 酒税法違反で起訴される
- 1988年 脳梗塞発病
- 1993年 自宅の火災により焼死

